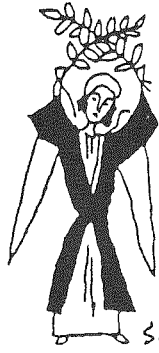


# VISION

The Brotherhood of St. Andrew Japan, Inc.

《幻がなければ民は墮落する》箴言29章18節



一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18  
日本聖公会東京教区会館内  
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo  
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696  
http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

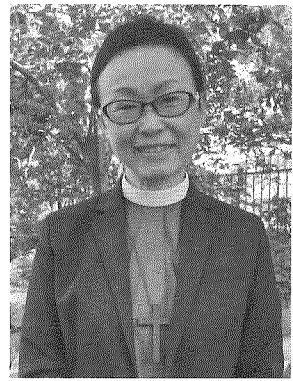
発行人 足立征三郎

編集者 萩谷長生

印刷所 藤井ノリスコーポレーション

## 北の大地からBSAの皆さまへ

北海道教区主教 マリア・グレイス 笹森 田鶴



BSAの会員の皆さまにご挨拶申し上げます。この度4月23日に武藤謙一首席主教さまの司式、五十嵐正司主教さまの説教をいただき、主教に按手され、第9代北海道教区主教に就任いたしました。マリア・グレイス笹森田鶴(ささもりたづ)と申します。どうぞよろしくお願いたします。

わたくしのBSAの思いは、子どもの頃に教会生活を送っていた盛岡聖公会で、壮年の男性の信徒の方々が会合を開いている様子を垣間見ていた頃からはじまります。「ちとせのいわよ」の聖歌(古今聖歌第387番)から始まるその会合は、非常に楽しそうであり、また真剣な学びの時のようでもあり、参加されている方々の熱気が自然と伝わってくるものでした。今でも何人もの顔を懐かしく思い出します。子どもの目からは、婦人会に対応して大人の男性たちが集まって勉強している会なのだろうという認識でしたが、聖書のみ言葉に聴き従おうとされている諸先輩方の喜びに満ちていたお顔の記憶や、その方々が教会の様々な活動の重要なお話を活躍されていたことを思い起こします。この記憶はその後も鮮明なものとしてわたしのの中に残っております。

その後東京教区に移り35年を同教区にて過ごすこととなり、すが、その期間の最後の数年間、東京教区の聖アンデレ教会で再びBSAの活動に触れることとなります。当時の聖アンデレ教会での活動は定例会での祈りと学びの時をベースにしつつ、BSA独自の活動ではなく、むしろ教会のありとあらゆる活動にBSAのメンバーが積極的に奉仕し、教会の活動自体を支えることを大切にしていました。しかもそれがまた皆さん大いに楽しそうでありました。このことにわたくし自身大変感銘を受け、その皆さまの姿に常に牧師として励まされ、また多くのことを学ばせていただきました。

残念ながらその支部は解散することとなり、わたくし自身もその後BSAとのつながりはなくなっており、この2つの教会で知ることになり、また一緒に過ごさせていただいたBSA活動に、忍耐力の日々もあつたようです。その再現が「初の女性の主教」として働くとき、また始まるのではないのかとの恐れ。しかし、田鶴さんは、その苦しみ、悩みに涙しながらも神の招きに応えられました。

### マリア・グレイス笹森田鶴新主教へ、祝福の言葉

主教 ガブリエル 五十嵐 正司

私には天啓ガブリエルから受胎告知されたイエスの母マリアを思いました。結婚をしていないマリアにとつては、ガブリエルの言葉は受け入れられなかったでしょう。しかし、マリアは悩み、苦しみながらも「お言葉通り、この身になりますように。」と応えます。そのように応えながらも不安なマリアは親類エリサベトに急いで会いに行きます。「親類に共通していたことは今でもわたくし自身の信仰生活の上で重要なこととして受け止めておられます。それは御言葉に聴き従い、神様を賛美し、具体的に教会活動を支えるために喜びの中での働く、という素朴な信仰者としての生き方そのものです。神様は、人間を特別な存在として造つてくださった。それは天地創造の時から今に至るまで続いている神様の創造のみ業に、人間が参与するためでした。この世界が神様のみ旨にかなうように日々新しくされていることへ、人間が積極的に関わる恵みをいただくためでした。そのため人間は働きます。本来神様は人間の働きによる実りを喜んで受け入れ、また人間の働きが神様の働きにつながる創造的なものであるようにと望んでくださいます。創造主なる神様は、この世界の完成を目指して日々働いておられるところにそれぞれが人間が加わっていくように一人ひとりを招いてくださり、その導きを願います。」

また、主教に按手されても、不安な思いになることはしばしばあるかも知れません。そのような時に、マリアにはエリサベトがいたように、田鶴さんには多くのエリサベトが北海道教区に、日本の各地に、世界の各地に、私を思い出してくださいます。私も田鶴さんが主教に選出された日から、毎日祈つてきました。神に、これからも祈り続けます。神によって選ばれ、多くの人の祈りの中で、主教たちの手を通して、次の言葉によって田鶴さんに聖霊が注がれました。「主の教会における主教の務めと働きのために、主の僕マリア・グレイスに聖霊を注いでください。」聖霊が注がれて主教に按手されたのですから、それで十分安心して歩み続けてください。

### BSAセミナー 「教えて、教区はどうなるの？」

日時 2022年10月8日(土) 13時開始

主催 一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)

講師 日本聖公会 総主事 エッサイ矢萩新一司祭

実施方式 zoomによる講演

参加方法 zoomに申し込む。

1 左記メールアドレス宛にメールで申し込む。

2 申込みには「BSAセミナー参加」と書き、氏名、住所、電話番号、教会名を明記。

3 締切 9月10日(土)

申込者には、zoom招待状(zoom link, ミーティングID)およびレジュームを9月末にメールで送ります。

問い合わせ BSA本部

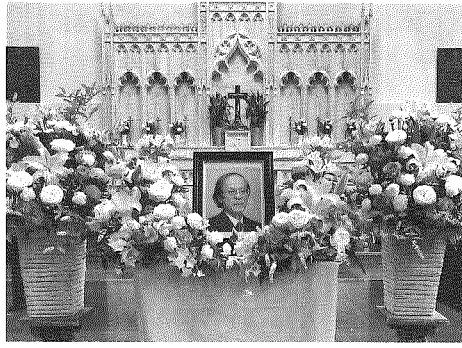
電話 03-3436-14325

### 松平信久前立教学院院長逝去記念式

ヨセフ松平信久前立教学院院長の逝去記念式が5月21日(土)、立教学院諸聖徒礼拝堂で行われた。

松平信久氏は、昨年5月20日、満80歳で亡くなった。記念式には紀代夫人とご遺族、親族、立教学院関係者、親交やゆかりのあった人などおよそ90名が参列した。

BSAからは足立会長、尾崎、木島両副会長をはじめ、理事数名が参列した。



活動の原点は八丈小島での経験  
記念式の教話で西原廉太立教  
大学総長は「大学を出てすぐ赴任した八丈小島の学校での3年間の僻地教育の経験が、その後

の生き方の原点となった。  
学者だからといって研究室にこもるのではなく、現場主義を貫いた。恵まれない人たちが子どもたちへの温かい眼差しにあふれていた。」と遺徳を偲んだ。  
多くの論文、著書、翻訳を遺した。西原総長は、その中から『二つの日本』(2013)、『キープへの道』(2018)、『思い出の静かな岸辺を探ねて』(2020)の3冊の翻訳書(いずれも北條

鎮雄氏との共訳)を紹介。豊富  
な脚注に実証主義者としての真  
髓が見られることを強調した。

また、『キープへの道』翻訳  
の動機として、学生たちと清里  
で合宿した時のことがあったの  
ではないかと語った。

さらに、「昨年発行したBSA  
信徒叢書『ウイリアムズ主教に  
学ぶ』は、ウイリアムズ主教の  
人物像を鮮やかに描写し、一つ  
一つ資料にあたって調べる誠実  
な人柄が出ている」と結んだ。

続いて関 正勝、前田一男両  
立教大学名誉教授が追悼の言葉  
を捧げた。

関氏は、「2020年5月に  
東京・目白聖公会で行われた  
BSAセミナー『ウイリアムズ  
主教に学ぶ』は、ウイリアムズ  
主教に関する資料を渉猟した最  
後の講演だった」と振り返った。  
終生何かを「耕す人」だった

最後に遺族を代表して長男の  
哲郎さんが父の思い出を語り、  
参列者に感謝と御礼を述べた。

哲郎さんによると、「信久」  
という名前には「久しく信仰を  
保つように」という親の願いが  
込められていたという。  
立教大学の稲田素子氏は、松  
平氏を評して「何かを耕してい  
る人というイメージがある」と

教育学科の紀要の退職記念号に  
書いてあるという。哲郎さんは  
「平日・休日問わず父は自分  
のためだけにゆっくりしている  
光景を見たことがない」という。  
西原総長の「実証主義の人」と  
いう表現を、別の角度から見た  
ものであろう。「他人を軽々し  
く総括するな」ともいっていた  
という。

松平信久氏は、亡くなるま  
でBSAの評議員を務めた。  
2021年に予定していた  
BSAセミナーの第2弾「来  
日宣教師群像と教区形成過程  
」米・英・加ミッションの特色  
と日本聖公会」は、レジュメを  
完成したまま、コロナ禍のため  
開催出来ずに終わった。オンラ  
インでの実施も検討したが、ご  
本人の意向もあり、実現しな  
かった。

### 笹森主教に推戴状

(理事 ダビデ吉松英美)  
6月2日(木)に日本聖公会  
定期総会を終えた笹森田鶴北海  
道主教に足立征三郎会長、尾崎  
茂雄・木島 出両副会長がお会  
いし、BSA名誉副会長推戴状  
とスカーフを贈呈した。



総会会場のルーテル市ヶ谷センター  
玄関で笹森主教とBSA三役

### 特別委員会報告

コロナ禍の状況もあいかわら  
ず迷走状態ですが、皆さまには  
本誌177号で報告いたしました  
ように、本年4月より対面に  
よる特別委員会を再開し、引き  
続きBSAの当面の課題につい  
て協議を進めています。  
中でも正会員問題については  
毎回時間をかけて、BSAの目  
的・理念との整合性を第一に、過

去の総会に寄せられた会員のご  
意見や時代の要請を鑑みつつど  
のように定款を改定すべきなの  
かを協議し、具体的な提案内容  
について、理事会に諮った上でな  
るとか総会議案として提出でき  
るよう鋭意検討を続けています。  
ほかにも新会員勧誘のための  
パンフレットの改訂版発行作業  
や、新支部設立・復活に向けて  
の具体的戦略・方策などについ  
ても検討し、2027年に創立  
100周年を迎える日本BSA  
の将来設計に向けての一助とな  
るべく、委員一同頑張っており  
ます。ご意見、ご要望などをお  
寄せください。

(特別委員会委員長  
アブラハム 松田正人)

### シリーズ 宣教協働区(5)

#### 「各宣教協働区委員会の 働きについて」

管区事務所総主事  
司祭 エッセイ 矢萩 新一  
北関東教区は広田勝一主教の  
定年退職を機に2021年4月  
に伝道教区となり、東日本宣教  
協働区(北海道・東北・北関東・  
東京)内の教区主教と協議し主  
教会の同意を得て、高橋宏幸主  
教が管理主教となられました。  
それに先立つ3月25日に「北関  
東教区・東京教区これからの  
歩みに向けて」という共同文書  
が発せられ、草の根の交流・相  
互理解・あらゆる分野における  
協働を継続しながら、5年後に  
新しい教区の設立を目指すこと  
を宣言されました。単なる2つ  
の教区の「合併」ではなく、「新  
しい教区の設立」というところ  
が肝です。5年間の工程イメー  
ジの策定に始まり、「新教区設

立についてのQ&A」の作成と  
現在堅信受領者への配布、両教  
区会での「宣教協働特別委員会」  
の設置と「新教区設立推進に関  
する覚書」の締結を行なって現  
在に至ります。宣教協働特別委  
員会の中には、「宣教協働」「組  
織」「財政」「広報」の4つの小  
委員会が設けられ、両教区の信  
徒・聖職が出席するための合同礼  
拝などの企画と実施、個人情報報  
に留意しながら踏み込んだ財政  
状況の共有と議論、広報誌や冊  
子による相互理解、合同の教役  
者会や黙想の手引きの作成、代  
祷表の共有など、積極的な協働  
が進められています。一人の主  
教による司牧と霊的な指導のも  
とにあるという一体感は予想以  
上に大きく、高いと思われた垣  
根が不思議なくらい低く感じら  
れるようになったと言われる教  
役者の声もお聞きしています。

両教区内の信徒・教役者への更  
なる周知が丁寧に行なわれ、ま  
ますの協働が進み、新しい教  
区を作り上げていかれると思ひ  
ます。北海道教区と東北教区の  
分科会は、合同の常置委員会を定  
期的に行なって相互理解を深め  
つつ、代祷表の共有や情報交換  
が進められています。

北海道教区は現状を鑑みた判  
断として新しい主教を選出され  
ましたが、決して宣教協働・教  
区再編に参画しないということ  
ではなく、これからの重要な課  
題として検討していくとのこと  
です。東日本宣教協働区では、  
2022年2月28日付で「東日  
本宣教協働区2021年の振り  
返りと新しい歩みについて」が  
発せられ、段階的に教区再編と  
宣教協働を推進していくことが  
記されています。

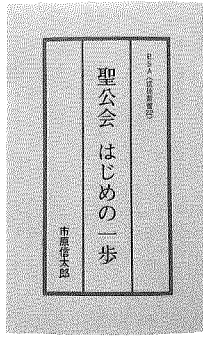
中日本宣教協働区(横浜・中部  
京都・大阪)では、京都教区と  
大阪教区の合併は仕切り直しと  
なりましたが、組織や宣教体制  
についての情報交換に始まり、オ  
ンラインを活用して互いの研修会  
などに招き合ったり、4教区の代  
祷表を交換して祈り合ったりし  
ながら、宣教協働の実践と可能  
性の模索を継続しています。  
西日本宣教協働区(神戸・九  
州・沖縄)では、これまで3  
教区で協働してきた平和礼拝や  
ワークキャンプの実りを確認・  
評価しつつ、組織・宣教伝道・  
財政などの体制を学びあい、沖  
縄・広島・長崎の平和礼拝の統  
一した案内の作成など、種々の  
研修やプログラムの相互招待を  
始めています。

今年6月の管区の総会では、  
主教会報告の一部として「宣教  
協働区報告」がなされ、ますま  
すの周知と協働によって、宣教  
体制の立て直しに取り組むこと  
が確認されました。どの宣教協  
働区も初めての経験で、手探り  
の状態です。宣教協働区・伝道  
教区制は、日本聖公会を3つの  
教区に集約しようとするもので  
もありませんし、主教が退職す  
る教区が伝道教区になってすぐ  
に教区再編をしなければならな  
いというものでもありません。  
一人ひとりが教会や教区の将来  
を真剣に考え、関心を寄せあ  
い、協働していくことが求めら  
れていると思います。一つひと  
つの教会の雰囲気異なるのと  
同じように、教区の成り立ちや  
カラーも異なりますが、カラフル  
で多様な者たちの集まりであ  
るからこそ、豊かで聖公会らし  
い共同体であることを忘れずに  
歩んでいきたいと思ひます。

### BSA信徒叢書22が 発刊されました

理事 アブラハム 松田正人  
昨年、3巻までとめて発刊された信徒叢書シリーズに、6月末新たに新刊1巻が追加されました。

『聖公会 はじめの一步』著者は市原信太郎司祭、中部教区所属ですが、管区の祈禱書改正委員会実務担当者として、東京教区の事務棟にオフィスを持ち、頻繁な移動も含めお忙しい中であって東京教区の活動にも何かと、そのタレントを発揮してくださっています。本書は東京教区聖パウロ教会の教会報『聖火』にかつて『聖公会という教会』のタイトルで連載されていた同師の原典を加筆修正していただいたものです。



打ち合わせの始めから長く決定されなかったタイトルは、この本を誰に向けてのどのような目的のものに仕上げるかの著者のこだわりによるものでした。もともとは教員が自分達の知識を増やすためのものだったとしても信徒叢書化にあたって、もっと入門書にできないか、教会への新来者へのガイドにならないか、歴史書にとどまらず、現在と将来への聖公会の立ち位置についての記述もあることをどう表現しようかということの模索が続きました。その結果としてタイトルが『聖公会 はじめの一步』です。

に、聖公会への入門の一步という意味もこめられました。教会員、BSA会員の必読書として、また、新来者へのガイドとしてご活用くださるようにお勧めいたします。お申し込みは役員、支部長経由、もしくは郵便振込用紙で(振込手数料をご負担ください)、なるべく教会単位でのご注文をお願いいたします。  
(本書担当信徒叢書委員)

#### 信徒叢書を読む

##### 『神の教会・わたしたちの教会』

評議員

クレメント 国見 登

コロナ禍のため、主日礼拝の出席が制限され、出席者の顔ぶれが一変し、礼拝後は直ちに構外に出る様に指示され、空しい思いで帰路につく時がありました。

教会の存在意義を問われかねない事態のように思われます。一方、こんなにコロナが蔓延しているのに教会を開くなんて、これは科学に対する冒瀆だと非難する声もあります。

加藤博道主教様は、教会委員と聖職者との間でどのように礼拝を運営していくか十分な協議が大切であると示唆されています。

私は戦前と戦中、戦後の過渡期にミッションスクールに在学していたので、戦中の極端な変化に驚きました。教会は閉鎖され、非常食の倉庫と化していました。

同級生の中には、ミッションスクールと知らずに入学し、気が付かずに卒業した仲間が多数います。

戦後は直ちに元に戻り、幸いにもその学校の教師となり、生徒達と共に日々祈りに始まり、

祈りに終わる学校生活を定年まで送ることが出来ました。そして主日に教会委員として一定の責任と使命を担い、奉仕できました。

聖書の中の「二人または三人がわたしの名によって集まる所には、わたしもその中にいるのである」(マタイ18:25)は、私の座右の銘として、いつも心に留めています。  
(立教諸聖徒礼拝堂)

#### 賛助会員

パトリック 山田益男

この本を書いてくださいました加藤博道主教様は、キリスト教の歴史は、聖職者を教会の中心としてその制度を重んじる流れと、信徒の存在や働きの大切さを回復しようとする二つの流れが、教会が本来の主イエスの福音になつたものであるかを問う中で繰り返し現れてきたと指摘されています。

今、日本聖公会が置かれた状況の中、聖職に養われる受動的立場と思込んでいた私たちが信徒ですが、日々の生活の中で実は聖職者よりも宣教の最前線に立たされていることに気づくことが促されています。

信徒に何ができるかと思いつむ前に、教会(キリストの共同体)の一部に組み込まれた存在として各自にできる奉仕を担おうという意識を持つことが大事だと。

この本を多くの信徒の方に読んでいただき、信徒の奉仕職と関わったとき、信徒奉事者や教会委員といった役割だけを想定するのではなく、それぞれができる奉仕を自分の問題として考えて頂きたいものと願います。  
(渋谷聖公会聖ミカエル教会)

南町田支部  
ペテロ 三村英夫  
ご承知のとおり、我国においては高齢化と少子化の傾向が著しく、日本聖公会においても聖職者と信徒の員数が減少しており、教会宣教の退潮が懸念されています。

そうした潮流の中にあつて、聖職者としての深い洞察力と強い危機感に基づく加藤博道主教著『神の教会・わたしたちの教会』信徒の奉仕職のヴィジョンを一読し、日本聖公会の将来像や再生への手掛かりを考える上で多くの示唆を受けました。

加藤主教は、教会における信徒活動の歴史的な回顧と近時における米國聖公会や英國教会及び韓國教会の事例を示されながら、未来志向の視点から、聖職者のパートナーとしての信徒奉仕職、なにかんなく、信徒奉事者の役割の重要性とその職責・職務の在り方について言及され、具体的には、「専門的な信徒奉事者」か、「開かれた奉仕の形としての信徒奉事者」か、或いは、両者の並存か、何れの形を選ぶか、選択の余地があると提言されています。

教区主教が複数の教会管理牧師を兼務せざるを得ない現状に鑑みて、教会における牧会的側面の補強が求められますから、「専門的な信徒奉事者」が望ましいと感じました。

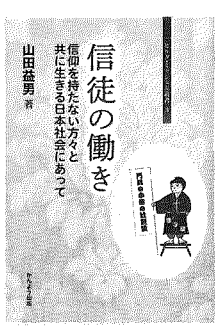
然しながら「専門的な信徒奉事者」という職制が敬遠されることなく教会内に定着するには、然るべき制度上の処遇処置が望まれます。

教会奉仕に尽力されている信徒奉事者の皆さんに対し心より敬意を表すると共に、加藤主教の「もう一步・前へ」の励ましに込めるためにも、教会宣教の

退潮の今こそ、とくに、教会の経営マネジメントの視点からの取組みも期待しています。  
(東京教区・真光教会)

#### 新刊紹介

##### 山田益男著『信徒の働き』



「信徒の働き」は、山田益男氏の著書で、信徒の働きについて、その歴史、その意義、その実践について、山田益男氏が自身の経験と研究を基に、詳しく解説されています。

BSA賛助会員の山田益男さんが、このほど長年にわたる思索と実践を本にまとめた。畏友山田益男さんは、20年以上前から教会を取り巻く課題について考え、その思いを機会あるごとに発表してきた。

最初は、聖職者の減少についてであった。私は東京教区の聖職養成委員長をしていた時に、聖職者研修会で、その考えを語ってもらった。データを使い、熱意を込めて説明していく話は、参加者の胸に響いた。

その後、山田さんが取り組んだのは、未信徒の人たちを教会にどう迎え入れるかということであった。教会の敷居はなぜ高いのか。キリスト教に惹かれるものを感じながら、教会に入ることをためらっている人たちがどうしたら迎え入れられるか。

それらをまとめたのが「辻説法」と「信徒談義」である。次に山田さんが提起したのが「みことばの礼拝」における信徒の役割であった。聖職者が減少する中で、信徒には信徒の役割があり、そのための信徒教育が必要だと訴えて来た。同感!

『信徒の働き』には、山田さんのその時、その時の考えと実践の記録が凝縮されている。昨年出版したBSA信徒叢書『神の教会・わたしたちの教会』(加藤博道主教著)と共通するものがある。あわせてお読みいただきたい。

問いあわせは、渋谷聖公会聖ミカエル教会山田益男兄宛。  
(かんよう出版1,800円)

問い合わせは、渋谷聖公会聖ミカエル教会山田益男兄宛。  
(かんよう出版1,800円)

問い合わせは、渋谷聖公会聖ミカエル教会山田益男兄宛。  
(かんよう出版1,800円)

問い合わせは、渋谷聖公会聖ミカエル教会山田益男兄宛。  
(かんよう出版1,800円)

★一般ご家庭の引越 事務所引越  
★オフィスの引越 のエキスパート!!  
★フロアの移動  
★各種展示会セッティング etc...

**GTEC 株式会社ギンテック**

港区港南3-4-12  
TEL 0120-223-008  
TEL 3471-5313

ホームメイド・チーズケーキの店

**CHEESE CAKE JOHANN**  
HOME BAKED MADE

和 田 博 子  
目黒区上目黒1-18-1  
TEL 3793-3503

**立教企画グループ**

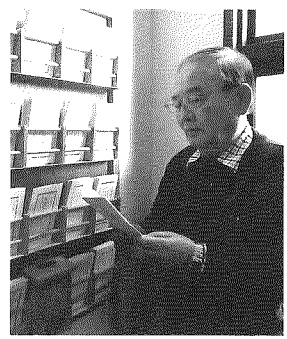
学校業務受託、人材派遣等承ります。

株式会社 立教企画  
株式会社 立教オフィスマネジメント  
株式会社 立教ファシリティマネジメント  
株式会社 立教ライブラリーマネジメント

http://www.rikkyo-planning.co.jp

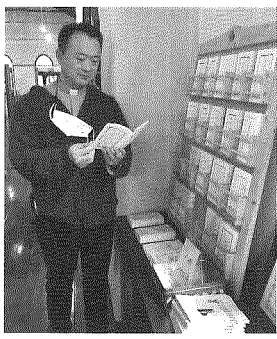
信徒叢書のある風景(12)

聖マルコ教会



正確なことは分からないけれど、この教会の島崎敏彦兄(BSA理事)によると、信徒叢書の書架の設置は、2005年12月ごろではないかという。聖マルコ教会支部の発足に合わせ設置したようだ。その後、2015年1月に教会の建て替えが行われ、入口に近いところに設置されて、今日に至っている。書架の前で本を手に入れているのは、石川一男さん。

三光教会



昨年の11月14日、教会の創立記念日に信徒叢書の書架が設置された。

考えてみると、これまで三光教会に書架がなかったのが不思議なくらいである。

信徒叢書の創刊は1988年4月。当時のBSA会長は、三光教会信徒の伊達宗浩さんで

あった。書架の前に立っているのは、萩原 充執事。

聖公会神学院



聖公会神学院の橋詰弘道事務長の話によると、信徒叢書の書架が設置されたのは7、8年前のことで、神学院の後援会長をしていた倉石 昇兄(BSA顧問)のご尽力があったという。正面入口を入ると、正面に広いロビーがあり、書架はその左の壁際に置いてある。

しかし、神学生たちは、寮の一階にくつろぐ場所があり、そちらを使用するらしく、残念ながら書架のあるロビーに集まる様子はない。きつとみんな自室で読んでいたのであろう。倉石顧問は、信徒叢書の著者は神学校の卒業生であり、後輩の神学生にも読んでもらいたいという気持ちがあったという。

佳奈ちゃんと信徒叢書

ルカ 野田義文

昨年10月のことである。十数年来診てもらっている医師から、「心音がおかしい。手術が必要」といわれ、急遽、入

院する羽目になった。入院までの2日間は、病院に持ち込む荷造りで慌ただしく過ぎた。信徒叢書21冊と曾野綾子著『私を変えた聖書の言葉』そして聖書日課B年。この3つだけは忘れまいと真つ先に鞆に入れた。

いよいよその時が来た。わたしは手術室のベッドの上で天井を見つめていた。すると一人の看護師が入ってきた。「手術が終わったら、この車椅子で迎えにくるからね。心配しないで、大丈夫よ」。

彼女のこの短い言葉が緊張で張り詰めていたわたしの気持ちを和ませ、全てを委ねる気持ちにしてくれた。

手術は胸骨を3本切って、機能の危うくなった弁膜を生体弁に置き換えるものであった。その間、人工心肺を入れた。記憶は全くないが、後で聞いた話では、約5時間を要した。

信徒叢書との出逢いは、妻が聖路加国際病院で抗癌剤治療を受けていた2015年に遡る。治療中はチャペルで信徒叢書を読んで過ごした。難解なものから簡潔で判り易い史実などと様々な視点から捉えられており、私にとっては、それぞれの冊子が救いへの導きであった。妻は2019年8月、天に召された。

手術後2週間、幸い順調に回復し、退院の日を迎えた。「野田さん、今日退院ですね。おめでとー！わたしのこと覚えてる？」。手術の日に天井を見つめていたわたしに声をかけて

くれたあの看護師である。「佳奈ちゃんですよ、覚えていますよ。」「野田さんはクリスチャンですね、わたしもよ。わたしは仙台のプロテスタントの中高一貫校出身です。」わたしは即座に、信徒叢書全部と曾野綾子の本をあげることにした。本を手にした彼女は「超嬉しいー」と喜んだ。

退院後も時々ふつと「佳奈ちゃん、信徒叢書をどこまで読んでくれたかな」と思いつつ。彼女に負けないように、退院すると、信徒叢書21冊を購入した。(東京・真光教会)

自転車修理で

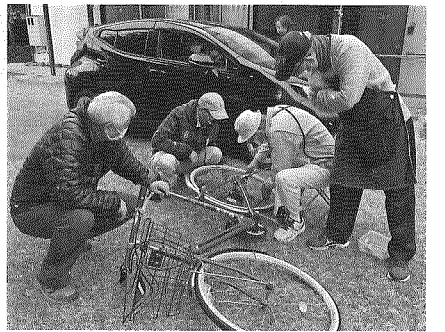
ウクライナ支援

神奈川県在住のBSA有志 自転車修理で集めた献金でウクライナを支援する活動を神奈川県西部在住のBSA会員有志が立ち上げた。

活動を呼びかけたのは、高橋 恵太郎さん(厚木聖ヨハネ教会)で、参加したのは田島利男(川崎聖パウロ教会)、渡辺多茂夫(藤沢聖マルコ教会)、鈴木久夫、竹内元章(共に平塚聖マリヤ教会)のみなさん。

メンバーは4月16日(土)の午前10時に平塚聖マリヤ教会の駐車場に集まった。活動は、通りの角に立て看板を立てることから始まった。メンバーが道具箱を開けたら、パンク修理用のタイヤに水を

をはったりしていると、島田征吾司祭が夫人と一緒に現われ、激励した。



仕事は、パンクの修理から、スタンドの調節、チェーンのたみやブレーキの不具合、錆落とし、タイヤカバーのゆがみの補正、タイヤの空気補充などさまざま。修理は無料であるが、代わりに献金箱に献金を入れてもらう仕組みになっている。

献金箱のそばには高橋さんが作った木工製品が並んでおり、子どもたちや近所の母親たちが購入して300円、500円と献金していた。

この日は午前中だけで大人用、子ども用あわせて6台の自転車を持ち込まれ、8,600円の献金があった。

報道によると、コロナ禍以来、自転車の売れ行きが好調で、昨年は、過去最高を記録した。修理の需要は十分にある。生きている東日本大震災

「自転車修理隊」の経験

見ていると、皆さんは手慣れた手つきで修理に励んでいる。それもそのはずで、ここに集うメンバーは、2011年3月11日の東日本大震災後に、宮城・福島両県で自転車修理のボランティア活動を行ったあの「自転車修理隊」員たちなのだ。

現在も神奈川県の大磯にあるエリザベス・サンダース・ホームで、毎月、自転車の修理を行っているという。

仕事着から修理道具一式、座椅子まで一切が揃っている。修理活動は、毎月第一・第三土曜日に行うという。

みなさんは「献金額の多寡よりも、こういう活動を継続していくことに意味がある」と口を揃えている。

修理の仕事がない時は、お互いの情報交換の場として過ぐす。BSAの会員であることを絆にして、毎月集まり、他人が喜ぶことに生き甲斐を感じる人たちである。地元紙でも紹介

5月7日(土)には、地元「タウンニュース」紙が取材に訪れた。BSAの活動が地域の新聞から取材を受けたのは、初めてではないだろうか。

東日本大震災後も活動を続けてきたことが、ウクライナ支援活動に生かされている。継続は力なりという。活動の理念と実践は途切れることなく続いている。(理事 ダビデ吉松英美)

歓迎新入会員

カタリナ山越伊都子姉 (東京・聖アンデレ教会)

会員動向

高瀬祐二評議員が、4月1日、社会福祉法人滝乃川学園聖三三礼拝堂チャプレンに任命された。

# ビジョン広場

## 私の教名

ステファノ 大山義幸  
私の教名「ステファノ」は教父母からいただきました。ステファノとはギリシャ語で「冠」という意味だそうです。その名にふさわしく、最後までキリスト教の精神を貫き「殉教の冠」を授かったステファノにあやかりました。

現在、私は日曜学校の校長として、子どもたちとともに朝礼を行っておりますが、これからは祈りを通して「キリスト教の精神」を子どもたちに教えていければと思っています。

(阿佐ヶ谷聖ペテロ教会)

ヨハネ 橋本 守

1962年の秋、私は今井正直司祭に呼ばれ、「君の聖名はヨハネにするよ」といわれた。ヨハネは気性の激しい若者で「雷の子」といわれていたが、イエス様の弟子になり、イエス様に学び、做って最も愛された弟子として皆に尊敬されたと教えられた。「君もぜひヨハネのような愛の人になつてくたさい」といわれた。

教父母は、香蘭女学校のウーレイ先生、三光教会の平川良三先生、そして立教高校の森田利光先生にお願いした。

ウーレイ先生とは、学生時代の数年間、平日の早朝礼拝を一緒に捧げ、指導を受けた。平川先生は、とても穏やかな方で三光教会の礼拝係として活躍され、尊敬されていた。

担任の森田先生は、立教の良さをもっと知りたいと、友人3人と教会へ行くきっかけを作ってくれました。

「愛の人」にはなれなかった

が、教会の大好きな「祈り人」には近づいたと感謝している。

(東京・三光教会)

## 賛助会員

ジェーン 板橋志津子  
立教大学入学後、すぐに聖歌隊に入りました。当時聖公会信徒でなければ正隊員にはならず、チャペルの日曜礼拝出席も義務でした。

教会の牧師から「信仰は一つ」だからといわれ、聖公会に入りました。後藤 真チャプレンが教名「ジェーン」と書いた小さな紙をくださった。ヨハネの女性形でキリストに一番愛された弟子」といわれました。

2018年5月に念願であったトルコにあるヨハネのお墓に行ってきました。丘の上にある「聖ヨハネ」と彫った大理石のお墓から温かみが伝わってきました。

キリストが母マリアを託したヨハネ。ジェーンという台風もありましたが、わたしは、この名前を大切に思っています。

(東京聖三一教会)

パウロ 今北 理

父親コルネリオ今北時正の推薦で家族全員教会(三重県津市・聖ヤコブ教会)に行っていた中学生時代に洗礼を受けました。子供たち3人が好きな洗礼名を父親に申告して決めるといふ形だったと思います。

中学生の頃、ながら族で受験勉強中、名古屋の中部日本放送(CBC)のラジオ放送を聞いていました。夜10時過ぎに河内桃子さんの朗読で「心のともしび」という番組がありました。

ある時、聖パウロがいったという「心に愛がなければどんなに美しい言葉も相手の胸に響かない」「暗いと不平を言うより明るくあかりをつけましょ

う」という言葉を聞きました。それが頭に残っていて「パウロ」にしたいと父親と牧師夫人の墨子先生に相談して決めました。

(東京・聖パウロ教会)

サムエル・アルベルト

私の教名はサムエル・アルベルト。大学の2月26日に堅信を受けました。

クリスチャンネームは、自分でつけてよいとチャプレンからいわれました。そこで、絵画でもおなじみの幼きサムエル。そして、洗礼直前に自分の尊敬するシユバイツァー博士のアルベルトもつけさせてもらいました。

その後、堅信50年を過ぎ、自分の人生を振り返りますと、何をやってきたのだろうかと思えます。

現在、教会委員、ボランティア活動、校友会活動で忙しく暮らしています。そろそろ引退の時期かと思いますが、元気なうちは活動を続けられたらと思っています。(本当は、名前を二つ付けたことには後悔していません。)

(藤沢聖マルコ教会・藤沢支部長)

## 次号のビジョン広場

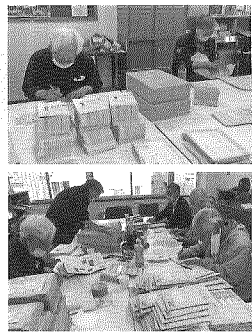
テーマは「私の好きな聖句」です。あなたの好きな聖句(引用100字以内・出典明記)とその理由、聖句にまつわるエピソードなどを300字以内にご投稿ください。

締め切りは8月20日(土)。教名+氏名、住所、教会名を記入。宛先は、メール・

saralyoshimatsu1515@ozz.jp  
ファクス: 042214815454  
〒181-0003

三鷹市北野3-9-38  
吉松英美

理事会報告  
4月25日(月) オンライン  
4月14日(木) VISION  
178号発行



VISION 発送業務

● 2022年度役員担務について  
● 諸活動再開に向けて ほか  
5月30日(月) オンライン



zoomによる理事会

- 4・23(土) 北海道教区笹森田鶴 主教接手・就任式
- 5・21(土) 松平信久氏逝去記 念式
- 6・16(木) KEEEP協会評議員会

- VISION179号発行計画
- 信徒叢書発行計画(6月刊予定) 「聖公会はじめの一步」
- 特別委員会報告
- 1 定款の改定案... 会員資格の

## 「VISION」文芸

野田 徹

草刈は修行に似たり炎天下  
父の日に届いたビールの嬉しさよ  
おはようと窓辺のバラにご挨拶

雲辺 (松岡正治)

大学の聖書講座や秋高し  
新しきビルの谷間や夏帽子  
雲の峰練習船は北上す  
廃校の跡見てみたり帰省の子  
言うだけの事は言いたし秋の山

松平謙次

亡き吾子の棺作りて焼きし父また巡りくる77年目の夏  
二千年時を隔ててへロデとプーチン 嬰兒虐殺悪夢再び  
古本屋肉屋呉服屋自転車屋消えてわが町静かに老いぬ

高橋恵太郎

霧雨に濡れて爽やかに咲き競う窓の明りの庭の紫陽花  
轟きしおどしの音にかばかり食に付けしか里山の獣  
早曙の窓に呼応の明け鳥夜来の雨に一声も無く

吉松英美

米初の女性国務長官オルブライトチエコに生まれてアメリカに死す  
ブチヤ、ポロジェンカ、パウリポリ「ゲルニカ」と化すウクライナの街  
ハナミズキ今を盛りと咲きにけり街路樹によし庭木にもよし

## 変更

- 2 BSA案内パンフレット案
- BSAセミナー準備状況
- 来年度青少年キャンプについて
- 6月27日(月) 対面方式
- KEEEP協会評議員会報告
- 信徒叢書「聖公会はじめの一步」発行(30日)
- 特別委員会報告
- BSAセミナー準備状況
- 来年度青少年キャンプについて
- 信徒叢書の販売計画他について

創立の恩人 ポールラッシュ  
学校法人メイウシヤマ学園  
**ハリウッド大学院大学**  
**ハリウッド美容専門学校**  
〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ  
☎ 0120-083394 www.hollywood.ac.jp

**St Luke's**  
会員制健康クラブ  
聖路加フレンズ  
☎ 03-3541-1056  
受付時間 平日9:00~16:00  
https://www.stlukes-friends.com/

# 清里高原だより 清泉寮ニユース

## ●清里高原の自然 いよいよ夏の訪れです

標高1400mの清泉寮の気候は、東北から北海道に近い気候と言われます。朝夕はまだまだ涼しいのですが、梅雨が明け、半袖で気持ちよく過ごせる日も増えてきました。清泉寮は本格的な夏の観光シーズンを迎えます。

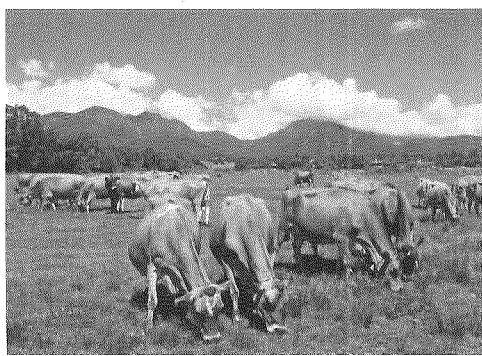
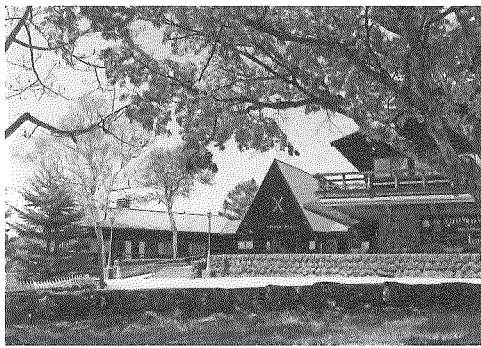
## ●「やまなしアニマルウェルフェア」三ツ星認証獲得

山梨県は国内の自治体で初めて、家畜にストレスを与えず健康的で快適な環境で飼育する農場を認証する「やまなしアニマルウェルフェア」を創設。清泉寮ジャージー牧場は、最も厳しい基準を満たした「三ツ星認証」を獲得しました。

清泉寮ジャージー牧場では、ジャージー牛達が広大な牧草地に放牧され、牛のフンを堆肥とす

る「循環型酪農」で育てた牧草を食み、牛舎では鎖やロープを使わずのびのびと過ごしています。1949年から続く、ポール・ラッシュ博士の清泉寮ジャージー牧場での取り組みが評価されました。

今年の夏は清泉寮でのんびり過ごしてみませんか。清里高原では、例年にも増して、夏鳥たちが賑やかに囀り、青々とした森の中では木漏れ日がキラキラと眩しく輝いています。



## ●日本聖徒アンデレ同胞会の皆様は、ジャージー牛ファンクラブ会員特典がご利用できます

日本聖徒アンデレ同胞会様はジャージー牛ファンクラブの法人

会員です。日本聖徒アンデレ同胞会の方であれば、ジャージー牛ファンクラブの会員特典をご利用いただけます。

ジャージー牛の放牧や集牧、搾乳の見学など、これまで非公開であった清泉寮ジャージー牧場の「特別体験プログラム」をご利用でき、特別価格での清泉寮宿泊や、オリジナルグッズの購入、清泉寮全店舗でのお食事やお買物の割引等、様々な特典がご利用できます。この機会にぜひご利用ください。

お問合せ：清泉寮ジャージーファンクラブ事務局  
(0551-48-2626)

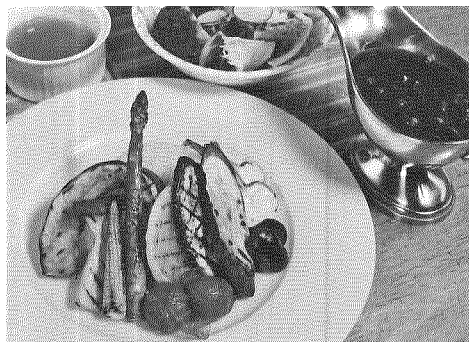


## ●清泉寮本館レストラン カレーフェア開催中

清泉寮本館レストランでは、4つの清泉寮カレーを楽しめるカレーフェアを開催しています。伝統の清泉寮カレーにとれたての高原野菜をトッピングした「清泉寮夏野菜カレー」や、ソーセージと厚切りハムをワンプレートにまとめた「ヴァイスソーセージ&ハムグリルカレー」など、ご宿泊専

用の新館レストランのシェフがご提供します。

清泉寮本館レストランは1957年に建てられた木のぬくもりを感じる落ち着いた店内で、窓からは富士山を望むこともできます。この夏はぜひ清泉寮本館レストランで清泉寮カレーをお楽しみください。



## ●清里に集う名手たちの饗宴

2022年9月16日(金) 清泉寮本館ホールにてヴァイオリニストの和波たかよしさんによるコンサート「コロナ禍を乗り越える希望の調べ・II」が開催されます。清里に集う4人の名手の演奏を秋の清泉寮の夕べと共にぜひお楽しみください。

お問合せ：清泉寮フロント  
(0551-48-2111)



## BSA信徒叢書

聖公会という名の教会(一)

竹内 寛著

聖公会という名の教会(二)

(三)(四)

今井滋治著

奇跡は語る

竹内 寛著

復活

竹内 寛著

聖書に聴く(一)(二)(三)

速水敏彦著

キリスト教史—古代 菊地栄三著

キリスト教史—中世・現代 菊地栄三著

十字架

竹田 眞著

サクラメント

竹田 眞著

礼拝一口メモ(一)(二)

竹内謙太郎著

わたしたちの『祈禱書』

森 紀旦著

米国聖公会(一)(二)

飯田徳昭著

(以下、新刊)

聖書の心と茶の心 高橋宏幸著

ウイリアムズ主教に学ぶ

松平信久著

—その生涯と同師をめぐる人々

神の教会・わたしたちの教会

—信徒の奉仕職のヴィジョン 加藤博道著

(本年6月発行)

聖公会 はじめの一步

市原信太郎著

## 訃報

アンデレ 加藤 昭夫兄 (89歳)

(盛岡聖公会)  
2月17日逝去

ヨハネ

大橋 寛兄 (94歳)

(松戸聖パウロ教会)  
4月14日逝去

フランシス 斉藤 高夫兄 (80歳)

(盛岡聖公会)  
6月5日逝去

グレゴリオ 大山省三兄 (87歳)

(真光教会)  
7月6日逝去

## 編集後記

着座後間もない超多忙な笹森田鶴北海道教区主教に巻頭言をお願いしたところ、快くお引き受け下さり感謝です。少女時代に盛岡でBSAの諸活動を垣間見て以来、今日まで私たちのすぐ近くにおられたことを知りました。これを機にぜひ北の大地にも新たなBSA支部の設立を目指したいものです。

あっけなく梅雨が明けると記録的な猛暑。その最中、携帯(AU)が2日間不通となり、大詰めの編集作業には痛手でした。加えて元首相の襲撃事件。ともあれ、編集室より暑中お見舞い申し上げます。

(N・H)